岩盤ボーリング柱状図

調　　査　　名	災害関連緊急砂防事業に伴う測量・設計業務委託（岡棟川）
事業・工事名	
調査目的及び調査対象	砂防　構造物基礎

ボーリング名	Bor No.4	**調査位置**	広島県呉市音戸町先奥3丁目	**北緯**	34°09’21.2000″
発注機関	広島県西部建設事務所呉支所	**調査期間**	平成30年12月28日～平成31年 1月 7日	**東経**	132°31’00.7700″
調査業者名		**主任技師**		**現場代理人** / **コア鑑定者** / **ボーリング責任者**	
孔口標高	DL 28.95m	**角度**	180° 上 下 0° 90° 0°	**方向**	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南
総掘進長	7.00m	**地盤勾配**	5° 水平 0° 鉛直 90°		

使用機種			
試錐機	東邦D-0型		
エンジン	ヤンマー　NFD12	**ポンプ**	東邦BG-3C型

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	工学的地質区分名（模様）	工学的地質区分名	色調	風化の程度	変質の程度	硬軟	コア形状	割れ目の状態	岩級区分	記事
0～3.10	25.85	3.10	SF	表土	淡茶灰							旧耕作土および河川護岸築造時の埋め戻し土などを主体としている。土質は，細砂～粗粒土を主体としている。礫は，φ10～20mm程度の亜角～亜円礫を主体としている。有機物（土嚢袋）が点在する。
3.10～3.50	25.45	3.50	WG	まさ土	茶灰	w5	h4	E	Ⅵ	d		基盤岩質由来の粗粒土を主体としている。
3.50～4.70	24.25	4.70	Gr	花崗岩	茶褐	w3	h3	D	Ⅴ	c	D	風化著しい花崗岩である。（観察による岩級区分：DM～DH級）岩組織および外周を残すもののコア肌粗い。コアは，打撃にて礫状となる。（コア洗浄にて粒子が溶出する）
4.70～7.00	21.95	7.00	Gr	花崗岩	白灰	w1	h1	B	Ⅲ	b	CL	比較的新鮮で硬質であり，短棒状コアを主体としている。深度方向にRQRが高くなる傾向が見られる。節理沿いに亀裂が発達しており，亀裂面に若干の変色が見られる。亀裂角は，約30～40度を主体とする。

コア採取率（%）×　最大コア長 cm ●　RQD [%]

深度区間 (m)	最大コア長 (cm)	RQD [%]	コア採取率 (%)
0～1			(100)
1～2			(100)
2～3			(100)
3～3.5	0		(100)
3.5～4	0		(100)
4～5	16	[16]	(100)
5～6	18	[30]	(100)
6～7	22	[37]	(100)

孔内水位／測定月日：1/7　0.55　0.90

標準貫入試験

N値	深度 (m)	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
6	1.15～1.45	6/300		
27	2.15～2.45	27/300		
34	3.15～3.45	34/300		
50以上	4.15～4.35	50/200	200	
50以上	5.00	50/0	0	

原位置試験：なし　室内試験：なし

削孔状況

削孔月日	削孔速度 (cm/h)	孔径・孔壁保護	コアチューブ・ビット	給圧 (MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	削孔水・送水量 (L/min)	排水量 (L/min)
	50	90/ケーシング	シングル/打込みシュー	0	0	0	W1/0	0
12/27			ダブル/メタル	1	150	0	W2/20	20
12/28	80		ダブル/メタル	2	200	0	W4/25	25
1/7	50	66	ダブルコアチューブ/ダイヤ	3	200	0	W4/25	25